

ふれあいの心がつまっています。

ほけつと

2019 SUMMER
第122号

野木町社協情報誌 **NOGI-TOWN POCKET**

 この情報誌は、一部赤い羽根共同募金配分金により発行しています。

目次

- P2 平成30年度
野木町社会福祉協議会事業報告
- P3 平成30年度
野木町社会福祉協議会決算報告
- P4 2019年度
ボランティア全体会・全体研修会
- P5 善意の寄付 ふれあい福祉総合相談
おれんじカフェ
- P6 傾聴講座、各ボランティア募集
- P7 熱中症になったときの対処法
野木町民生委員児童委員協議会活動の紹介
- P8 ボランティアチャレンジスクールの募集
ひとりぐらし高齢者交流会のお知らせ

要チェック!

ボランティアチャレンジスクール・ひとりぐらし高齢者交流会 → P.8

えんじゅクラブ野木ペタンク大会(5/22)

優勝

野木第二寿会 A

準優勝

友沼川西福寿会 B

3位

新橋ローズクラブ A

4位

卯ノ木クラブ B

野木町社会福祉協議会・野木町社会福祉ボランティア連絡協議会
ホームページアドレス <http://www.nogi-shakyo.or.jp>

ツイッター始めました!



平成30年度事業報告

マークの事業は一部共同募金の配分金を受けて事業を実施しています。

法人運営

- (1)理事会3回開催、評議員会2回開催、監査会1回開催
評議員選任・解任委員会1回開催
- (2)会員増強推進

会員数(寄付含)	6,581世帯	金額	3,211,005円
賛助会員数	33事業所	金額	170,000円
- (3)善意の寄付

金品	26件	810,972円
物品	6件	

- (2)高齢者の介護予防と包括的援助・支援

①総合相談支援	3,612件
②介護支援専門員定例ケア会議の開催	4回
③予防給付介護予防支援事業 (予防ケアプラン作成)	2,870件

高齢者福祉の推進

- (1)ひとり暮らし高齢者の交流事業 2回
- (2)高齢者と子どもの交流事業 2回
- (3)老人ペタンク・老人レクリエーション大会の開催

ふれあい福祉総合相談

- (1)総合相談

心配ごと相談	8件
法律相談	48件
- (2)心配ごと相談員研修会 1回

障がい児・者福祉の推進

- (1)視覚障がい者朗読テープの作成と貸出

ボランティア活動

- (1)ボランティアの登録

団体数	14団体
個人ボランティア	69名
- (2)ホームページの開設
- (3)ボランティア保険加入数

ボランティア活動保険	925名
ボランティア行事保険	1,193名
- (4)学童・生徒のボランティア活動普及事業の推進
 - ①ボランティアサマースクール(7/23~7/27)
 - ②小学生チャレンジスクール(7/24~7/27)
 - ③One dayボランティアスクール(8/2)
 - ④協力校事業連絡会議の開催 年3回
 - ⑤地域福祉新聞の発行 年1回
- (5)ボランティア活動の支援
 - ①傾聴ボランティア養成講座(10/17、10/24、10/31)
 - ②福祉講座の開催
 - ・手話講座 (9/29、10/6、10/13)
 - ・朗読講座 (10/10、10/17、10/24、10/31、11/14)
 - ③災害ボランティア講座(9/12)

生活支援・資金貸付事業

- (1)日常生活自立支援(あすてらす) 165回
- (2)生活福祉資金貸付 0件
- (3)社会福祉金庫貸付 47件
- (4)行路援護者援助 4件

老人福祉センター(ホープ館)の管理運営

- (1)老人センター事業
 - ①生きがい講座 34回
 - パソコン講座 16回
 - 水彩画&パルテル画講座 33回
 - ②健康体操教室 17回
 - ③男の健康体操教室 27,142名
- (2)老人福祉センター利用者数

「きら輪号」の運行

- (1)新規登録者数 157名
- (2)きら輪号利用者数 8,690名

地域福祉啓発活動

- (1)ふくしのつどい 来場者数163名
- (2)社協情報誌「ぼけっと」の発行 年4回

在宅福祉サービス事業

- (1)ふれあいサービス(住民参加型在宅福祉サービス)事業 101回
- (2)生活支援事業(訪問介護) 48回
- (3)配食サービス事業 1,812食

配食ボランティア数	43名
-----------	-----
- (4)外出支援サービス事業 64回
- (5)福祉機器(車いす)貸出事業 39回

日本赤十字社活動と共同募金活動

- (1)日本赤十字社栃木県支部野木町分区事務局
 - ①日本赤十字社社員募集(5月) 3,227,905円
 - 募金総額
 - ②災害等による被災地への義援金等の受付 176,882円
 - 義援金総額
- (2)栃木県共同募金会野木町支会事務局
 - ①赤い羽根共同募金運動(10月) 2,817,241円
 - 募金総額
 - ②義援金受付(平成30年7月豪雨災害義援金受入・送金) 37,939円
 - 義援金総額(ふくしのつどい売上分)

居宅介護サービス事業の推進

- (1)介護保険事業と障害者自立支援授業
 - ①居宅介護支援事業(ケアプラン作成) 1,075件
 - ②訪問介護事業 1,639回
 - ③予防訪問介護事業 777回
 - ④自費訪問介護事業 9回
 - ⑤障害者福祉居宅介護事業 279回

平成30年度 決算報告

資金収支計算書

自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日

(単位:円)

事業活動収入	179,574,951
事業活動支出	192,368,135
事業活動資金収支差額	△ 12,793,184
施設整備等収入	0
施設整備等支出	1,950,002
施設整備等資金収支差額	△ 1,950,002
その他の活動収入	23,951,270
その他の活動支出	6,408,954
その他の活動資金収支差額	17,542,316
予備費支出	0
当期資金収支差額	2,799,130
前期末支払資金残高	17,296,231
当期末支払資金残高	20,095,361

事業活動収支計算書

自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日

(単位:円)

サービス活動収益	179,244,139
サービス活動費用	170,584,209
サービス活動増減差額	8,659,930
サービス活動外収益	14,926
サービス活動外費用	0
サービス活動外増減差額	14,926
経常増減差額	8,674,856
特別収益	0
特別費用	1
特別増減差額	△ 1
当期活動増減差額	8,674,855
前期繰越活動増減差額	3,817,519
当期末繰越活動増減差額	12,492,374
基本金取崩額	0
その他の積立金取崩額	2,000,000
その他の積立金積立額	253
次期繰越活動増減差額	14,492,121

貸借対照表

平成31年3月31日 現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
流動資産	66,470,672	流動負債	46,375,311
固定資産	133,858,785	固定負債	50,448,610
		負債合計	96,823,921
		純資産の部	
		基本金	1,000,000
		基金	63,229,048
		国庫補助金等特別積立金	0
		その他の積立金	24,784,367
		次期繰越活動収支差額	14,492,121
		純資産合計	103,505,536
資産合計	200,329,457	負債・純資産合計	200,329,457

令和元年度 社協会員加入のお願い

社会福祉協議会の財源は、主に行政からの補助金、共同募金、寄付金等になっていますが、これまで以上に充実した地域福祉活動を推進する上で、地域の皆様にご協力をいただく社協会費は重要な財源となっています。今年も、7月1日から会員募集をいたしますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

令和元年度目標額 3,480,000円(賛助会費含む)

会費は **地域福祉活動事業** **住民福祉啓発事業** **法人運営事業** に使われます。

2019年度 ボランティア全体会/全体研修会

4月25日、町老人福祉センター(ホープ館)に46名の町のボランティア仲間が集い、町社会福祉ボランティア連絡協議会の全体会・全体研修会が行われました。

全体会では、島田弓子会長より2018年度の1年間の活動が報告され、2019年度の事業計画と引き続き会長に就任された同会長をはじめ新役員が紹介され承認されました。

ボランティア取材レポート 走辺 寿美子

「地域を支える安心のまちづくり～これからのボランティア活動について～」 —住民の「おたがい様」活動から考える— 講師：山田昇氏(さくら総合専門学校講師)

「住み続けたい町」ってどんな町だろう？ 安全で安心できて、そして便利で快適で過ごせる町。それだけだろうか？ 住民同士が「支えあい」のある町が心豊かに過ごせる町なのでは？ 講師の山田氏は、演壇を降りて会場の中を歩き回りながら、一人一人と目を合わせながら、ユーモアをまじえ話しかけてくる。時々、会場から笑いが起きる。ご自身もマンションで一人暮らしの高齢者という。表札もなくNoだけのマンションは、特に住民同士のコミュニケーションが取りにくい。それでも、一人暮らしのお婆ちゃんの犬の散歩を引き受け、借りている菜園で、近所の人たちに自分から話しかけ、人の和を作っているという。昔は、小学校から帰宅した子供を隣の婆ちゃんが、庭で遊ばせてくれた。自然に「お互い様」と声をかけ合いながら暮らしてきた。だが、物質的に豊かになった現代は、人間関係が希薄になってきて、回覧板も手渡しをしなくなった。だが、これからの日本は、経験したことのない高齢化社会を迎えようとしている。2020年には4人に1人が65歳以上という。そんな社会で、高齢者の孤独死が増え、障がい者が生きづらくなってきた。

そこで、昔からあった「お互い様」活動を始めてみてはいかがだろうか？ 例えば、千葉県柏市の公団住宅は高齢化が進み、孤独死が多くなった。そこで、その公団住宅に地方出身の学生たちを入居させた。すると、そこにいい人間関係が生まれ、孤独死が減ったという。お年寄りたちが学生たちに惣菜を差し入れ、そのお返しに学生たちが、地方の土産を渡すという、ごく自然な繋がりがそこにあった。私たちは、ボランティアに対して限られた特別な人が特別な活動するというイメージが強くないだろうか？ 「ボランティアなんて関係ないと思ってるあなた、今は健康で幸せでも、近い将来、どうなるかわかりませんよ」と、山田氏は力をこめる。

今までのボランティア活動は、施設訪問やイベントなどへの参加、募金活動など。でも、近年のボランティア活動は災害救助活動、見守り、安否確認、日常生活支援など多様化している。活動も個人から小集団へ、そして、有償ボランティアの考え方も変化してきた。昔ならゴミ出しや買い物などは隣近所に人がやってくれた。だが、今はちがう。県内のふれあいコープでは、掃除や買い物などの家事支援や病院の付き添いなど日常生活支援サービス提供として、利用希望会員とサービス提供会員の登録、調整を始めている。

ボランティアは、自然な人間関係でいいのです。密着した人間関係は嫌われる。ソフトな人間関係を保ちながら、自分も無理はしないことが一番。一緒にお茶を飲んで話をして、将棋の相手になるのもいい。ただ施設訪問して踊りや歌を披露するよりも、その後で、お年寄りと話を聞くのが大切。ボランティアとは「幸せを運ぶ風」になれること。いつも風のように寄り添うような、あくまでもサポーター。そして、自分自身も楽しく気楽にできるもの。「人生百年時代の老後生活。元気な高齢者の出番です！ 出かける喜び、出会える喜び、伝わる温もり……人に感謝される喜びが待っていますよ！」と、最後まで山田氏は笑顔で話した。



善意の寄付

ありがとうございました!!

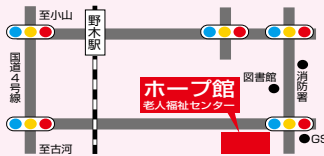
4月
 ・渡邊会計事務所 様50,000円
 ・野木町笑いヨガクラブ 様 5,000円
 ・栃木労働基準協会野木地区支部 2,835円

5月
 ・匿名 様ハガキ43枚
 ・栃木県退職公務員連盟小山支部 ... 未使用タオル80本
 ・匿名 様 客座布団15枚

『ふれあい福祉総合相談』のお知らせ

野木町社会福祉協議会では、日頃から抱えているいろいろな悩みや問題について、相談に応じられるように「ふれあい福祉総合相談」を開業しています。

相談種別	相談日・時間	相談内容
心配ごと相談	毎月第1水曜日 午前10時～正午	家庭の悩み 心配ごとのある方
法律(弁護士)相談	毎月第3木曜日 午前10時～正午	法律に関わる相談のある方 予約が必要です。下記までご連絡ください。
ボランティア相談	月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分	ボランティア保険の加入や、社会福祉支援活動等に関する相談のある方
介護相談	月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分	介護に関する相談のある方
生活資金・地域福祉権利擁護相談	月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分	生活資金や日常金銭管理に心配のある方



場所・問い合わせ先 野木町社会福祉協議会 (野木町老人センター内)
 電話 57-3100 FAX 57-3101

- 相談は無料・秘密は厳守いたします
- 法律相談は、事前予約が必要です。また、法律相談については原則として1人2回(2019年度内)とします



おれんじカフェ



「おれんじカフェ」とは認知症の方やその介護をしている方、認知症に関心がある方など、誰でも気軽に利用できる憩いの場です。認知症に関することをみんなで共有してみませんか？

今年度は、毎月第3水曜日に開催予定です。

申し込み不要、
 出入り自由♪



- 日時** 毎月第3水曜日
午後1時30分～午後3時30分
- 会場** 野木町総合サポートセンター ひまわり館
- 内容** 講話、情報交換 など
- 7月(7/17)「グループホームについて」**
講師：グループホーム森の舎
- 8月(8/21)「認知症ケアパスについて」**
講師：野木町地域包括支援センター
- 9月(9/18)「口腔衛生について」**
講師：小山歯科衛生士会
- 10月(10/16)「認知症の薬について」**
講師：ファーコス薬局のぎ



問い合わせ先

野木町役場 健康福祉課 高齢対策係 TEL 57-4173
 野木町地域包括支援センター(本センター) TEL 57-2400
 (サブセンター) TEL 23-2200

傾聴講座 ～だれかのために、じぶんのために～

傾聴は、「ボランティアをすること」だけではありません！傾聴は心の伴走者。
 きっとこれからの生活に活かせる、あったかくて、ホッとする講座。
 ぜひ受講してみてください。

- 日 時：10月3日(木)・10月17日(木)・10月31日(木)
 午後1時30分～午後4時 (全3回)
- 講 師：栃木県傾聴ボランティア連絡協議会 会長 黒川 貢 氏
- 場 所：ホープ館(町老人福祉センター) ●受 講 料：無料
- 定 員：20名 (定員になり次第締め切らせていただきます)
- 対 象 者：野木町在住・在勤の方、近隣市町在住者(※要相談)
- 申込受付：令和元年7月8日(月)～ ○申 込 先：野木町社会福祉協議会 ☎0280-57-3100



昨年度 受講生の声

- ・他人にできることが、時として、家族にできないことがある自分を自覚できました。
- ・知りたいと思っていた事柄に関し、先生が答えてくれて考える幅が少し広がりました。
- ・人の話を聞くことができない私でしたので、この傾聴を学んで、とても良かったです。



ハンディキャップ体験ボランティア募集

町内の小中学校などで行う福祉教育指導(補助)のボランティアです。
 地域のお子様の福祉への関心を高めるために、ご協力していただける方を募集します。

- 内 容 車いす体験、アイマスク体験、高齢者疑似体験の指導(補助)
- 日 時 学校などから依頼がありましたら、事務局からご連絡いたします。

問い合わせ 野木町社会福祉協議会 ☎57-3100 F A X : 57-3101



ふれあいサービス協力会員募集

暮らしの中でのちょっとした困りごとのある人を支える協力会員を募集します。
 昔、電気工事の仕事をしていた…大工さんだった…庭の手入れが得意…などなど
 みなさんの「得意」を生かして、だれかのために活動してみませんか？

- 内 容 実施範囲は町内とし、簡易な作業で1時間以内で終了するもの
 ※実際の依頼例 ・庭の手入れ ・電球の取り換え ・ゴミ出し
- 日 時 依頼がありましたら、皆様の活動可能日にあわせて事務局からご連絡いたします。

問い合わせ 野木町社会福祉協議会 ☎57-3100 F A X : 57-3101



赤十字奉仕団 団員募集

赤十字のボランティア活動を通じて、地域社会を住みよくしようという気持ちをもった人たちで結成し、活動を行っています。

私たち一緒に地域のために活動してみませんか？

- 活動例
 - ・救急法基礎講習の受講
 - ・地域生活支援講習会の実施
 - ・視察研修会
 - ・平成29年全町避難訓練時の炊き出し など

問い合わせ 野木町社会福祉協議会 ☎57-3100 F A X : 57-3101



熱中症になった時、どうすれば？対処方法は？

熱中症は、室内でも多く発生しています。夜も注意が必要です！

●意識がある、反応が正常な時

涼しい場所へ
避難させる

衣服をゆるめ、
身体を冷やす

水分・塩分を
補給する



119番

※ただし、水を自力で飲めない、又は症状が改善しない場合は、直ちに救急隊を要請。



●意識がない、反応がおかしい時

救急隊の要請
をする

涼しい場所へ
避難させる

衣服をゆるめ、
身体を冷やす

医療機関に
搬送する

野木町民生委員 児童委員協議会活動の紹介

PART2

笑顔あふれる地域づくりをめざして

◎部会活動

野木町民生委員児童委員協議会は、**高齢福祉部会、障がい福祉部会、児童母子福祉部会**の3つの部会で構成されています。

それぞれの部会が年間計画をたてて活動を行っています。高齢者のレクリエーションのお手伝いや保育所・福祉施設のボランティア、視察研修などを実施しています。

これらの活動は、自分の地域の様々な資源に目を向けるよい機会になっています。



高齢福祉部会点字講習会
協力：点友会「のぎ」

つながる!

ボランティアチャレンジスクール

小学4年生～高校3年生まで大募集!

- 日時** 令和元年7月22日(月)～25日(木) 9:00～15:00(日によって多少前後します)
- 場所** ホープ館(町老人福祉センター) 他 **食材費** 1,000円(初日に集金します)
- 対象・人数** 町内在住 小学4年生～小学6年生 約20名
町内在住 中学1年生～高校3年生 約10名 ※定員を超えた場合は抽選とします。
- 申込方法** 申込用紙を直接窓口(ホープ館)に持参してください。用紙はホームページからダウンロード、またはホープ館にあります。

7月22日(月) ホープ館 9:00～15:00	オリエンテーション	福祉講座 (手話・点字・朗読)	昼食休憩	ふれあいサロン事前学習 ものづくり講座
7月23日(火) 野木町総合サポートセンター 9:00～15:00	ふれあいサロン交流体験			認知症サポーター養成講座 講話・寸劇
7月24日(水) ピアポート千壽苑(千葉県) 8:00～16:30	専門家の楽しい認知症講座 (千葉県認知症疾患医療センター)			利用者と交流体験
7月25日(木) ホープ館 9:00～14:30	・まとめ ・ものづくり講座(竹細工) ・流しそうめんとバーベキュー 最優秀グループには記念品&ふくしのつどいのき2019(12/14)で発表のチャンス! 夏休みを活かして、どんどんチャレンジしよう!			

新しい出会い、初めての体験、…特別な夏休みを過ごしませんか?

- 受付期間** 令和元年7月1日(月)～7日(日) 9:00～17:00
- 申込先** 野木町社会福祉協議会(町老人福祉センターホープ館内)
- 住所** 野木町大字友沼5840-7 TEL: 57-3100

令和元年度第1回

ひとりぐらし高齢者交流会

野木町社会福祉協議会では、令和元年度第1回ひとりぐらし高齢者の交流会を開催いたします。参加ご希望の方は、下記によりお申し込みください。

- 日時** 令和元年**9月4日(水)** 午前9時30分～午後4時
- 行き先** 日光市 ・田母沢御用邸記念公園 他
- 参加対象者** 町内在住で65歳以上のひとりぐらしの方
- 交通** 町有バス
- 集合場所・時間** ホープ館(町老人福祉センター) **午前9時30分**
- 申込定員** 50名(定員になり次第締め切りにさせていただきます。)
- 申込方法** **申込受付は7月16日(火)～7月26日(金)です。**
☎57-3100 又は直接野木町社会福祉協議会
(ホープ館)までお申し込みください。(土・日を除く)
また、当日ホープ館(老人福祉センター)までの送迎を希望の方は
お申込みの際にお伝えください。

